



規 則

◇鳥取縣規則第二十九號

鳥取縣藥品検査規則を次のように定める。

昭和二十三年五月四日

鳥取縣知事 西 尾 愛 治

鳥取縣藥品検査規則

第一條 指定物資検査規則第三條の規定に基く薬工品の検査は、この規則の定めるところによる。

第二條 この規則で薬工品とは、指定物資検査規則第二條に基く告示品目中の薬工品をいう。

第三條 本縣内で生産した薬工品は、この規則により検査を受けたものでなくては、これを販賣し（交換する場合を含む。以下同じ）若しくは販賣の委託をし、又は本縣外に出してはならない。但し次の各號の一に

昭和二十三年五月四日
第千九百五號 火 臨 日

本署ノ下ノサハ規定規則A列5

該當するものは検査を受けなくてもよい。

一、自家消費の用に供する爲生産したもの、若しくは加工の目的で寄託するもの。

二、學術研究又は試験の用に供するもの。

三、博覽會、共進會又は品評會に出品するもの。

四、強制執行の目的物となつたもの又は國有に屬するもの。

五、特別の事由により検査を免除したもの。前項第二號、第三號及第五號の薬工品を縣外に搬出する場合、若しくは第五號の薬工品を販賣し、又は販賣の委託をする場合は、様式第一號に依る荷札を附け、所轄食糧事務所の支所又は其の出張所に届出て、様式第二號による検査免除印の押捺を受けなければならぬ。

第四條 本縣外から搬入した薬工品であつても、當該都

道府縣の検査を受けないもの又は検査を受けたことの確認出来ないものは、この規則に依り検査を受けなければならぬ。

第五條 第三條第五號に依る検査の免除を受けようとする者は、その事由、種類、數量、用途及び仕向先を記載した書面を以て、食糧事務所長に申請しなければならぬ。

第六條 検査を受ける薬工品には、その結末の緊拵に様式第三號による票箋を結び付けなければならない。

第七條 検査を受けようとする者は、別に定める規定に依り手数料を納付しなければならない。

第八條 この規則による検査施行の爲に必要な薬工品の積替、運搬、計量、解装又は改装に要する労力及費用は検査請求者の負擔とする。

第九條 この規則の適用により生じた損害については、賠償の責任を負わぬ。

第十條 検査は、農林大臣の定めた別表の規格並に品質及び乾燥度につきこれを行、極にあつてはその品位

につき一結末毎に検査等級を決定する。

第十一條 検査は、検査吏員これを行う。但し検査吏員と雖も、自己の利害に關係ある薬工品の検査は、行うことが出来ぬ。

前項の検査吏員とは、食糧事務所に勤務する食糧検査官及び食糧検査官補をいう。

検査吏員其の職務を行うときは、主要食糧検査令施行規則に定める様式第一號による證票を携帯しなければならない。

第十二條 検査は、現品所在地に於てこれを行う。但し食糧事務所長に於て必要と認めるときは、關係者の希望を斟酌して検査場所を指定することが出来る。

第十三條 検査を受けようとする者は、様式第四號の検査請求書を同轄食糧事務所の支所又はその出張所に提出しなければならない。

第十四條 検査請求者又は其の代理人は、検査に立會し、検査吏員の指示に従わなければならない。

前項の指示に従わぬときは、検査吏員に於てその検査を中止することがある。

検査を中止することがある。

第十五條 検査吏員検査を行うに當り、過度の水濕を含む有するもの、第十條の規定による規格に合致しないもの又は第六條の規定に適合しないものあるときは、その薬工品の検査はこれを中止する。

前項の規定に依り検査を中止したときは、その日より起算し十日以内に不備の點を正して再検査を受けなければ、その薬工品について既に提出した検査請求書は、その效力を失う。

第十六條 検査を終了したときは、票箋に検査の年月日及び食糧事務所名を記載し、検査吏員の認印を捺押し且等級の定めあるものにあつては、その検査等級に應じ、様式第五號に依る検査等級證印を押捺する。

第十七條 この規則により附した印章又は記號の抹消若しくは指定物資検査規則第十一條に基く抹消は、様式第六號に依る消印によりこれを行う。

第十八條 検査請求者は、検査等級の決定に對し異議あるときは、その検査の終了した日より起算し十日以内

にその異議の事由、検査等級別、數量、所在地、前検査年月日及び受檢希望日時を記載した書面を以て、食糧事務所長に再検査の申請を爲すことが出来る。

第十九條 検査済の薬工品であつても、左の各號の一に該當するものは、更に検査を受けなければ、これを販賣し若しくは販賣の委託又は本縣外に搬出してはならない。

- 一、荷造、結束を改め又はき損したものの
- 二、検査等級證印の不明瞭となつたもの
- 三、虫害若しくは鼠害を受け又は變質若しくは汚染したものの
- 四、検査後重量に著しい増減があつたもの若しくは過度の濕氣を吸収したものの

第二十條 検査吏員必要と認めるときは、検査済の薬工品につき検査を行うことが出来る。

前項の規定に依る検査は、正當の理由なくしてこれを拒むことは出来ない。

第二十一條 検査済薬工品の結束を解装したときは、直

にその票箋を破きしななければならない。
 第二十二條 検査済の薬工品を降雪地雪運搬し又は湿氣を吸収し易い場所に置くとときは、防湿の設備をしななければならない。

第二十三條 運搬業者又は運送取扱業者は、指定物資検査規則第三條の規定に違反して販賣若しくは販賣委託の爲又は本縣外に搬出しようとする薬工品を運送し若しくは運送の取扱いをする事は出来ない。

第二十四條 検査吏員又は警察吏員は、この規則に違反する事實ありと認めるときは、運搬停止若しくは保管又は關係資料の提出を命ずることが出来る。
 前項の規定による命令は、正當の事由なくしてはこれを拒むことは出来ない。

第二十五條 次の各號の一に該當するものは貳千圓以下の過料に處する。
 一、規則第三條 第四條、第十九條、第二十條第二項、第二十一條、第二十三條又は第二十四條第二項の規定に違反した者。

二、検査を免れる目的の爲又は検査を受けるに當つて不正の行爲をした者。
 三、濫りに検査済薬工品の検査等級証印又は票箋を隠蔽、抹消、き損若しくは不正に使用した者。
 四、検査済の薬工品に湿氣を施し又は品位の異なるものを混入し若しくは減量した者。
 第二十六條 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者がその法人又は人の業務に關し、前條の違反行爲をしたときは、行爲者を罰する外その法人又は人に對しても、同様の罰則を適用する。
 附 則
 昭和十八年六月四日鳥取縣令第三十七號鳥取縣薬工品検査規則は、これを廢止する。
 この規則は、昭和二十二年十二月二十九日からこれを適用する。
 この規則施行前、鳥取縣薬工品検査規則に依り検査を受けた薬工品は、この規定に依り検査を受けたものとみなす。

様式第一號 荷札

縣	市郡	市郡
届出人	市郡	村町
受取人	市郡	村町
種別	數量	
昭和	年	月 日

備考

一、用紙は強靱なものを用うこと
 二、「種別」には薬工品の種類を「數量」には總ては重量を、筵及び以ては枚数を記載すること

様式第二號

検査免除印 徑一寸 肉色 紫



様式第三號

要箋 長二寸五分 幅一寸

備考

一、用紙は強靱なものを用うこと
 二、「種別」には薬工品の種類を「品名」及び「數量」には規格に基き記載すること

縣	市郡	市郡
受検者	市郡	村町
種別	品名	
數量		
昭和	年	月 日

様式第四號 検査請求書

検査請求書
 昭和 年 月 日
 住 所
 氏 名

鳥取食糧事務所長殿
 左記の通り検査受度く検査手数料納收證票を貼附申請する

種別	品名	數量	貫枚
検査手数料		受検査場所 希望月日	

様式第五號 検査等級證印 徑五分 肉色 紫

上 上 並 並

様式第六號 消 印 徑三分 肉色 紫

消

別表

品名	縦目		地	巾	長	耳組	口開	底折込	當	縫	總計數	重	量	備	考	
	尺	寸														
一號吹甲	二〇以上	二、八五	尺	五、八	片側	二、〇	一、五	細荷	極細	片側	五〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
同 乙	同	同	同	同	五〇	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二號吹甲	一八	同	二、五五	同	五、六	五二	同	同	同	同	二五	同	同	同	同	同
同 乙	同	同	同	同	四八	同	同	同	同	同	二二	同	同	同	同	同

當繩をはずに「みしん」縫とすることが出来る
片方五寸づつの口繩をつけること

三號吹甲	一七	同	二、四〇	同	五、五	四八	同	同	同	同	二二	同	同	同	同	同
同 乙	同	同	同	同	四五	同	同	同	同	同	一八	同	同	同	同	同
四號吹甲	一六	同	二、二五	同	四、八	同	同	同	同	同	三〇	〇	〇	〇	〇	〇

當繩をはずに「みしん」縫とすることが出来る
片方五寸づつの口繩をつけること

- 一、織方は原則として打蕪一本織織違ひ一寸内外とする
- 二、織止は原則として三本編止とする
- 三、二號吹乙及四號吹以外の吹も必要に應じ口繩をつけるものとする
- 四、一號吹甲及一號吹乙の地蕪の中は當分の間三尺八寸以上で差支無い
- 五、一號吹甲及一號吹乙以外の吹の地蕪の中は當分の間五分以内の廣狹は差支無い
- 六、地蕪の中が規格に該當していても縦目數の少ないものは其の縦目數を表示すること
- 七、結束は十枚を一束とし直徑二分五厘以上の荷造繩で二箇所を二廻り十分よく括り男結びとすること

品名	縦目	巾	尺	長	一耳組	重	量	一結束	備	考
三六厚蕪	二一	以上	三、〇	六、〇	片側	五〇	〇	〇	〇	〇
同 薄蕪	一九	同	同	同	同	三五	同	三〇	〇	〇
五八蕪	二〇	同	二、八五	五、八	同	五〇	同	四八	〇	〇
毛三六厚蕪	二一	同	三、〇	六、〇	同	一二	同	四五	〇	〇

用途により片側三寸以内の耳毛を附することが出来る
織止は原則として三本編止とすること
耳毛片側四寸織止は兩端及び中央二ヶ所以上とする

00051

品名	等級	直徑	尺間	大	玉	中	玉	小	玉	備考
薄薙	一九同	同	同	一	五	の	重	量	又	は
毛三七薙	同	同	七、〇	同	一	四	同	三	八	〇
毛三八薙	一八同	二、八	五、八	同	一	二	同	三	〇	〇
毛五三薙	一七同	二、六	五、五	同	一	一	同	二	五	〇
毛四八薙	同	同	四、八	同	一	〇	同	二	三	〇
三六農用薙	二二同	三、〇	六、〇	同	九	〇	同	七	〇	〇
五八同	二〇同	一、八	五、五	八	同	八	五	同	六	〇
品名	編筋	巾	尺	長	重	量	一	結	束	の
薙代用	四筋以上	三、〇	以上	四、〇	以上	四〇〇	〇	〇	〇	〇
結束方法	は	薙	と	同	じ	で	あ	る		
玉	繩									

一、五八薙及五八農用薙規格は當分の間二尺八寸以上でも差支無い
 二、薙の中は規格に該當しても縦目數の少いものはその縦目數を表示すること
 三、結束は直徑二分五厘以上の荷造繩で縱二箇所を二廻り十分強く括り男結びとすること
 薙代用とも

一玉の重量又は長さ
 玉一中小
 玉一小
 玉

00052

品名	等級	直徑	尺間	熱數	卷棒の長さ	把の數	一束の長さ	備考
極細荷造繩	上、並	一五厘	二二	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇以上
細荷造繩	同	二五	二〇	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
中荷造繩	同	三〇	一七	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
太荷造繩	同	四〇	一六	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
極太荷造繩	同	五〇	一五	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
細堅繩	同	二〇	一五	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
中堅繩	同	三〇	一三	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
太堅繩	同	四〇	一二	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
極太堅繩	同	五〇	一一	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
束	繩							
品名	等級	直徑	尺間	熱數	卷棒の長さ	把の數	一束の長さ	備考
極細荷造繩	上、並	一五厘	二二	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇以上
細荷造繩	同	二五	二〇	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
中荷造繩	同	三〇	一七	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
太荷造繩	同	四〇	一六	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
極太荷造繩	同	五〇	一五	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
細堅繩	同	二〇	一五	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
中堅繩	同	三〇	一三	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
太堅繩	同	四〇	一二	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同
極太堅繩	同	五〇	一一	二二	二五	四〇	一〇	二、〇〇〇同

結束は原則として友繩（直徑三分以上の繩）で
 中央穴を通り二廻り二箇所を強く括り男結びとすること

結束は原則として友繩（直徑四分以上の繩は直徑三分以上の繩）で二廻り横二箇

細堅繩	同	二〇—二五	三四	二〇	五〇	一〇	二〇〇〇同	所を強く括ること
中堅繩	同	三〇—三五	二九	二五	四〇	一〇	一、五〇〇同	
太堅繩	同	四〇	二九	二五	三〇	一〇	一、〇〇〇同	
極太堅繩	同	五〇—六〇	二二	二五	二〇	一〇	一、〇〇〇同	

堅繩とは良く打つた藁を用い元撚を充分に施し漁業用に適するもの而言う
上とは材料良好揃い方が均整であつて品質良好なもの而言う
並とは品質上に次くもの而言う

特殊規格品

吠の部

岩手、兵庫、福島及九州各縣宛の分

品名	地		仕	方		備	考	
	縦目	横目		縫目	縫針數			
穀用吠	一八	二、五五	尺	五、六	片側五七	二、〇	一、五	中荷 極細 荷造繩 三〇以上 六五〇 口開を附けなくてもよ
種用吠	二〇	二、八五	尺	六、〇	片側六〇	二、〇	一、五	細荷 極細 荷造繩 三二以上 七〇〇 巾は當分の間二尺八寸以上でも差支無い

結束方法は他の吠に同じである

富山、三重、磁賀、兵庫各縣宛の分

青森、秋田、栃木、京都、各縣宛の分

鑛石 用吠 一五 二、一 四、〇 片側三五 二、〇 一、五 一 極細 荷造繩 片側一五以上 二五〇 耳毛片側二寸以内をつけること

結束方法は他の吠と同じである

石川縣宛の分		備		考	
品名	縫目	長さ	耳組	重量	備
大巾厚薙	二二以上	三、一五	六、五	片側四〇以上	一〇〇〇匁以上 耳毛片側三寸織止は原則として三本編止とすること
岩手、宮城、茨城、千葉、愛媛各縣宛	二二以上	三、〇	六、〇	片側二二以上	七〇〇匁以上 耳片側四寸織止は兩端及び中央に二箇所以上とする
長野、新潟、青森各縣宛の分	一七以上	二、六	八、〇	片側一七以上	三五〇匁以上 耳片側四寸織止は兩端及び中央に二箇所以上とする

新瀉縣宛の分

玉 繩

00055

品名	等級	直徑	尺間 撚數	一玉の重量又は長さ			備考
				大	中	小	
細三子繩	上、並	三五・四〇	二八	五・〇〇	三・七〇	〇〇	良く打つた薬を用い元撚を充分に施し 漁業用に適するものを言う
中三子繩	同	五〇・六〇	二五	七・〇〇	同	四・〇〇	
太三子繩	同	七〇	二一	六・〇〇	同	四・〇〇	漁業用に適するものを言う
極太三子繩	同	一〇〇	一六	七・〇〇	同	三・五〇	
品名	等級	直徑	尺間 撚數	卷棒の 長さ寸	一把の 把數	一束の 長さ	備考
細三子繩	上、並	三五・四〇	二八	二五	三〇	一〇・一、五〇〇	尺以上
中三子繩	同	五〇・六〇	二五	一七・五	一〇〇	二	七〇〇
太三子繩	同	七〇	二一	同	同	同	同
極太三子繩	同	一〇〇	一六	同	同	同	同

結束方法は荷造繩及緊繩に同じである

結束方法 一把毎に假縛を行い所定の把數を組合せ太繩(所定の卷數の中より戻して結束する)又は直徑四分以上の繩で二廻り横二箇所を緊括し男結とすること

告示

鳥取縣告示第二百六號

家畜傳染病豫防法第七條により次のように狂犬病豫防注射を實施する。

昭和二十三年五月四日

00056

記

鳥取縣知事 西尾 愛治

一、家畜の種類 犬
二、區域及日時

昭和二十三年	接 種 日 時	區 域 (市町村)	實 施 場 所
五月 十日	(午前九時から十二時まで)	鳥取市、面影	鳥取市役所、立川派出所、湯所派出所
同	(午後一時から三時まで)	鳥取市	美保農業會、瓦町派出所、茶町派出所
同	(以下同)	千代水、賀露	鳥取市役所
同		東郷、大正	大正村役場
同		松保、湖山	湖山村同
同		豐實、明治	豐實村同
同		吉岡、大郷	吉岡村同
同		美穂、大和、神戸	大和村同
同		寶木、酒津、末恒、瑞穂	寶木村同
同		濱村、逢坂、勝谷	濱村町同
同		鹿野、小鷺河	鹿野町同
同		日置谷、日置、青谷、中郷、勝部	青谷町同
同		米里、倉田、津の井	米里村同

00000

同	十七日	宇倍野、成器、大茅	宇倍野村同
同		福部	福部村同
同	十八日	本庄、小田、浦富、東、大岩、網代、田後	浦富町同
同		岩井、蒲生	岩井町同
同	十九日	下私都、中私都、上私都	中私都村同
同		賀茂、國中	賀茂村同
同	廿一日	大伊、船岡	船岡村同
同		大御門、隼	隼村同
同	廿二日	安部、八東	八東村同
同		丹比、若櫻、池田	若櫻町同
同	廿四日	河原、八上	河原町同
同		西郷	西郷村同
同	廿五日	散岐、國英	散岐村同
同		大、用ヶ瀬、社	用ヶ瀬町同
同	廿六日	佐治	佐治村同
同		智頭、山郷	智頭町同
五月	十日	倉吉町一圓	倉吉町越殿町倉吉細菌検査所
同	十一日	社、西郷、灘手	同所

00058

同	十二日	上井、上北條	上井町役場
同	十三日	高城、北谷	北谷村同
同	十四日	三朝、三徳、小鹿	三朝村同
同	十五日	旭、竹田	旭村家畜市場
同	十八日	東郷、松崎、花見、舍人	松崎村役場
同	十九日	宇野、泊	宇野村同
同	二十日	淺津、橋津、長瀬	長瀬村同
同	廿一日	下北條、中北條	下北條村同
同	廿四日	由良、大誠、榮	由良町家畜市場
同	廿五日	小鴨、上小鴨	小鴨村役場
同	廿六日	矢送、南谷、山守	矢送村家畜市場
同	廿七日	八橋、浦安	八橋町役場
同	廿八日	安田、赤碓	赤碓町家畜市場
同	廿九日	成實、以西	成實村役場
同	卅一日	下中山、上中山	下中山村同
同		下郷、上郷、古布庄	下郷村同
同	十日(午前九時から午後一時まで)	日野上	日野上村同
同	十一日(午前十時から午後一時まで)	多里	多里村同

同	十二日(同)	(午前九時から午後一時まで)	石見、福榮	右見村同
同	十三日(同)	二部	阿毘縁、大宮、山上	二部村同
同	十四日(同)	溝口、日光	米子、成美	阿毘縁村同
同	十五日(同)	黒坂	根雨、日野	溝口町同
同	十六日(同)	八郷	根雨町同	黒坂町役場
同	十七日(同)	江尾、米澤、神奈川	八郷村同	根雨町同
同	十八日(同)	光徳、逢坂	江尾町同	八郷村同
同	十九日(同)	御來屋、名和	光徳村同	江尾町同
同	二十日(同)	所子、大山、性内	御來屋町同	光徳村同
同	二十一日(同)	淀江、宇田川、高鹿、大和	所子村同	御來屋町同
同	二十二日(同)	巖、日吉津、春日	淀江町同	所子村同
同	二十三日(同)	大幡、縣、幡郷	巖 村同	淀江町同
同	二十四日(同)	大高、大山(赤松)	大幡村同	巖 村同
同	二十五日(同)	五千石、尙徳	大高村同	大幡村同
同	二十六日(同)	手間、賀野、天津	五千石村同	大高村同
同	二十七日(同)		手間村同	五千石村同

00060

同	(同)	法勝寺、大國、東長田、上長田	法勝寺村同
同	廿六日(午前九時から午後一時まで)	境、外江、上道	境 町同
同	(同)	餘子、渡	餘子村同
同	廿七日(午前九時から十二時まで)	富益、崎津	富益村同
同	(午前九時から午後一時まで)	大篠津、中濱、和田	大篠津村同
同	廿八日(午前九時から十二時まで)	夜見、彦名	夜見村同

三、實施要領

一、區域内に飼養する畜犬は各所定の日時場所に牽行して注射を受けねばならない。但し指定の區域でなくとも便宜上最寄りの場所に牽行することは差支なく。

一、畜犬鑑札は必ずその犬の頸部に着けて置くこと。

一、豫防注射を終了したときは狂犬病豫防注射済の証並びに證票を交付する。

一、既往に狂犬病豫防注射済の證票を有するものはその證票を持参すること。

一、狂犬病豫防接種費として畜犬一頭に付金五拾圓を徴収する。

◇鳥取縣告示第二百七號

昭和二十三年四月一日厚生大臣から委嘱された民生委員にたいし同日付を以てその担当地區を次のように定めた

昭和十二年一月鳥取縣告示第十四號(鳥取縣方面委員規程)及び昭和二十二年十一月鳥取縣告示第四百八十六號(厚生大臣から委嘱された縣下の民生委員にたいする担当地區の件)はこれを廢止する

昭和二十三年五月四日

鳥取縣知事 西 尾 愛 治

担當地區名 民生委員氏名

鳥取	西垣千代治	米澤美枝野	松本 リツ
都	泰秀	田中 かね	松谷 重子
坂田	利代	岡崎 隆俊	大村 良三
前田	總次郎	尾崎悌之助	大和谷 實
杉原	鉦	中村 惠契	上田太一郎
前田	龜治	高取千代子	有澤 榮一
鮫島	愛子	藏下 知二	田中喜美惠
渡瀬	俊宣	松本 幸	林 慶順
福山	勝次	片山 正道	須崎 哲次
小林	武	山本虎之子	下山 佐吉
加藤	莊一	吉村 憲次	藤井 信治
伊藤	尙新	澤田 一子	岸内 鉄治
坂田	義雄	竹内 義衛	田中 貞乃
住野	明民	鈴木 松江	榎 則治
綱師	勝	三好八重子	田中 又一
兜金	幸一	猪口 ぬい	岸本 重雄
山口	清美	佐久間實夫	濱田 昇一

西村萬壽雄	谷岡 一潔	猫山千代野
安養寺千代野	村江 則忠	横川陽五郎
北村 芳雄	杉谷榮之助	戸嶋 寛年
太田 一	尾坂 雅人	川戸 貞一
坂田 莊	中野 久子	
大谷 祖巖	佐野房次郎	小林あゐる
佐々木義雄	酒井 靜江	砂口 又吉
山崎多久平	山本 鶴吉	和田兵之助
箕浦 勇二	西村忠三郎	井内與市郎
永田 軍治	鷗飼 初音	石賀 常一
吉田 ユキ	岩坂清太郎	土井 健一
松井 國枝	橋谷 孝三	桑名 壽子
三好定治郎	山崎 幹夫	松原 喜男
狩野金四郎	山本 愛吉	前原 藤市
岩水初太郎	判澤喜八郎	本城 正道
嶋岡誠三郎	後藤 律	波多野 ヴサ
長谷川義明	佐桐 保雄	西本 和郎
山久 とう	小坂源次郎	松下 影高

安藤 誠一	來間まづ子	廣江 和一
松岡 重秋	田村 廣明	井上 政勇
菅田 明	坂口 寛	八幡政太郎
金山 昭男	佐吉 清秀	中島 靜
繩本 頼信	影山 勇	遠藤元二郎
堀安 成文	繩 義光	竹中 實
荒木清太郎	柳原寛一郎	河合 弘道
倉田 山根 繁雄	岡村 平藏	岡 力藏
西垣 梅藏	山本 久藏	西村 令藏
中村 勳	竹内多吉郎	秋山 勝治
竹本 正春	堀 爲壽	小澤壽賀夫
岡森 靜子	渡邊 篤	岡 近次郎
石原 巖	佐藤 正道	
津ノ井 川本 薫證	近藤 茂雄	井上 秀夫
谷口 源藏	鯖田 政子	
面影 米本 能紹	稻田憲太郎	山田 米藏
井關千世子		
宇倍野 井戸垣繁利	福田 重好	岡田 美子

田邊たみ子	五百川重雄	中野 淺藏
小山 敏子	澤田 愛藏	澤田 實治
西尾 節	湊 麟裕	松岡 周藏
林 哲夫		
竹氏 茂治	小谷 俊親	福田 鹿藏
土橋 之	山本豊太郎	中島 義雄
谷口 庄市	山脇 一野	高住 良吉
野津八洲範	西垣 利夫	長谷高鶴松
野村 正巳	山根 晴實	前田八重子
山本小太郎	山下 繁辰	中村 新造
蒲生 平井 武治	植田 愛造	
岩井 山崎 良巳	小谷 久雄	岡崎藤石工門
津村 文造	濱崎 喜平	谷村 義夫
小田 田村 德勇	竹内 政一	丸山 邦基
加納 一	橋本 節子	
本庄 引田 玄芳	谷口與里子	岡田 虎藏
石田 默翁	小畑 豊子	
東 池本 道參	上田 義藏	中川 富藏

鳥取縣公報 第九百五號 昭和二十三年五月四日

浦宮	會見 信道	山本 恭	伊藤 勇進
	植村隆太郎	三浦 文吉	田中ふみ子
	亀井 光延	邑田 龜治	松島 階敵
田後	北村 正亮	山口 艶子	
	堀壽 一	村田 強資	船木 勇吉
	尾田 菊藏	田村 きよ	陸本 かよ
網代	濱田 光治	川部 一男	芳尾 勝治
	濱部 銀藏		
大岩	奥田 勝代	石河千太郎	原田 徳男
	石田 一二	井關 赴夫	石原 光雄
福部	奥田 福藏		
	山崎 かよ	田中 長壽	南部美津野
	坪田 鈴子	平井 清	米澤 たみ
	谷本 輝	濱本 政治	坂口 甚八
	岡部 熊雄	濱本 信雄	井手野絹子
	濱野 二郎	松本 卓爾	
賀茂	中村 久平	今嶋隆木藏	北川 嘉夫

國中	中山 菊藏	横山 公憲	小谷 信夫
	上島 武夫	尾崎 惣平	林 篤
	三木 茂	宮田 信雄	澤田 源藏
	安田 精一		
船岡	中嶋 健次	佐々木光藏	清水 太一
	大橋 良造	壽岡 實	西池 義夫
大伊	岸本 政秋	森田 緑	
	林 泰治	田中 吉藏	谷尾 亀吉
	林 ゆきゑ	藤田 寛一	松本信次郎
	岸本 弘	湯淺 春乘	村上 松恵
國英	梶川 澤馬	上原 喜與	東田 一雄
	遠藤 龍雄	佐々木 悟	倉信 隆晃
	太田 茂滿	西尾 正弘	竹田 光雄
	前田 まさ		
八上	金田 勘一	松森 戒玉	太田 薫
	西田 富藏		
西郷	田中 隆長	谷口 政一	谷繁 春吉
	岸野常太郎	漆原 隆延	

散岐	下田 もと	西村 太郎	米田 彰貞
	中山 竹治	倉持善太郎	山田富二天
	釜谷 爲之	田村 茂海	
大御門	野田 光壽	石坂 祇童	永江 美輝
	片山 甚吉		
隼	垣田新次郎	西村藤四郎	岩見 良正
	西村 豊治	西村 乙一	木下 俊雄
安部	岩成 貞雄		
	田中 基一	藤田 康司	田中信一郎
八東	西川 幸雄	大原 正紀	
	林田 幸雄	川西富士太郎	中村 頼行
	加藤 憲治	野崎 文雄	小松 莊平
丹比	大村 富益	春菜 重美	山根 義明
	秋山 一成	朝倉榮太郎	山田 利江
	多内 敷三	佐藤 貞準	尾崎 一房
若櫻	山中 喜作	木島 節夫	小倉 二葉
	毛利 義雄	盛田 時雄	中尾 新一
	藤原 秀秋	川戸 政雄	鎌谷 良高

上私都	川上 寅平	宮崎 正明	森本 岩夫
	入江亀太郎	宮崎 義壽	田中 鶴壽
	杉山 藤藏		
中私都	宮本徳次郎	山崎 かめ	山本 新松
	河村 一枝	衣笠 庄平	衣笠 壽雄
	平尾 松治	宮崎 はる	田中哲之助
	衣笠 節		
下私都	中本 晴重	田中 晋吉	植村 是泰
	山内 恵子	横山智恵子	島田 島吉
大	國本 正臣	西村 節	林 通子
	安東 茂登	高田 久藏	伊田 章美
	飯田 隆正	森田 寛	
用瀬	岸本 長平	岸田 春治	加藤 まつ
	松島 庄藏	岩本千エコ	岸本喜太郎

鳥取縣公報 第九百五號

昭和二十三年五月四日

(第三種郵便物認可)

佐治	西尾 敬治	中谷喜代藏	谷本 實夫	山郷	河村 銀藏	聲高 龜治	岡田萬龜治
	西尾 禮二	中島 嘉吉	福田 音松		中澤 龍藏	藤原 覺治	横川 光作
	岡本 正男	住谷 金一	中谷 宣美	神戸	田中 壽男	谷口 芳晴	猪口 晃夫
	中谷 定夫	上田 晋	谷口 正治		有田 琴		
	長谷 義明	諸鹿 白雄	田中 信儀	大和	村上 武造	桐林 具理	山岡 義男
	稻村 未子	岡村 賜福	谷上 信行		森根孫次郎	近藤 益雄	中村 ぞを
社	福安 嘉美	福安 兵馬	長戸 豊	美穂	中村 豊治	近藤 保昌	表 藤市
	入江 有範	長谷川壽治	加賀田九か		横山 寅子	山根 一	中田 鹿雄
	前田 鹿藏	前田 惣吉		大正	岸本 誠一	山垣 久夫	林 条太郎
智頭	加賀田靜枝	加賀田九か			福澤 實治	西垣 久夫	
	加藤 勝雄	林 慶雄	南 子一	東郷	小谷 定治	中山 重義	
	植月 楠	林 兼松	植木房次郎		小松龍太郎	中尾 龜藏	西尾 重義
	芦谷淳一郎	徳岡 教仁	武田 一郎	明治	奥田 義人	林 範夫	
	吉澤 文海	安住 照治	久本 尙温		河田 澄	福田 好市	井口 譽富
	寺谷 敦雲	小林 正義	河野 剛彦	豊實	熊山 勝定	稻村 正善	加藤 定治
	佐々木友吉	平井 教眞	藤森 衆吉		眞嶋ちよ子	渡邊 定治	濱田泰一郎
	前橋 房藏	下田 國枝	山根 静枝		玉野 潔	加藤 秀造	藤森 鉄美
	檀原 綾子	山村 富枝	河村 頼子		岸本喜太郎		
	米井 明治						

松保	砂田 音一	太田 仙七	森本 周治	岸田 正雄	實木	中村 定藏	谷奥 富子	玉置賢二郎
	坪内 薫	民家 竹藏	福田 源衛		澤本憲五郎	村上 信正	山崎勘一郎	
千代水	瀧本耕太郎	小谷 鉄治	波當根武藏	酒津	世古 恒順	松林 鑑藏	嶋根 幸野	
	天川 潔	米澤 義幸	岩崎 龍一		濱根 竹治	池邊 晴夫	片山 政壽	
湖山	森本 茂信	宮本 徳道	岡崎 大綱	瑞穂	山脇 道壽	堀尾 繁子	佐々木千勢野	
	船越 堅一	森 千千	川崎 克巳		木本眞素人	南條重太郎	山根 幸恵	
	上山 逸子	城戸 法壽	片岡 氣録	鹿野	乾 勘治	高田 三郎		
	永見 遼二	泉 盛藏	山口 徹心		井上瀧二郎	梅津治郎平		
吉岡	西塔 とく	楠田 壽賢		勝谷	平吾 鉄子	山下 勇		
	小泉 道徳	竹田 延親			山口 重治	山本 四郎		
大郷	宮本 竹治	前田 鹿藏	横村誠太郎	逢坂	高田 吉治	加山 善市		
	福本 博元	能藤 勝雄	森本 茂		森 好朝	國森子太郎		
	福政武左衛門	岸本 春榮		小鷲河	福安 曆造	三谷 善治		
	高田源次郎	竹本 重美	松本金次郎		井上 正道	加山 正藏		
	徳安婚太郎	小谷 愛治	山根 静枝	正條	田中 なみ	尾崎 ひさ		
	安治 巖	河上祇千代			村上 友治	福市 照雄		
	中谷 宣春					橋本 壽治		

青谷	谷口平三郎	木下	孝瑞	井上	秀夫	上井	細井 金藏	岡本	正義
徳田	英	淺尾	駒藏	松岡新二郎	濱頭三千年	戸崎 惠保	尾崎 こと	河崎	巖
長谷川多喜藏	木下 甚一	田中	美代	大谷	義夫	藤谷 一郎	石川 義孝	植原楠太郎	礎江俊之祐
磯井 義信	吉田	輝子	大谷	義夫		磯江 一美	牧田 享	中井 英雄	田村 賢治
福永 儀親	山根	政藏	山根	政藏		杉本 薫	市橋 毅	吉川 才藏	井上 条藏
片岡徳太郎	田中	紋藏	房安	實藏		上杉 眞澄	木下 きの	正木 材	河本 節二
北島 節	長谷川重信	小林	作美	横川	みか	岩本 留治	川本實次郎	尾崎 壽恵	藏本松太郎
大西 正志	小林	作美	横川	みか		松村 春正	濱田 松藏	田中 輝彦	三枝 悌二
大西甚太郎	佐々木隆晋	尾崎	藤八	廣富	俊雄	賀順井春正	田中 輝彦	三枝 悌二	
廣富 三重	尾崎	藤八	廣富	俊雄		佐野 武	奥田 光好	長 速藏	
清水 力松	尾崎	房治	藤田	幸一		濱口 清	北村 援	米原 尊昭	
植田 辰次	見上	兼藏	谷尻	正吉		石田 英敏	清水まさの		
藤内 好野	向井松太郎	澤松岩太郎	河嶋	薫		舍人	佐々木義純		
倉繁 正	矢木鹿太郎	河嶋	薫			泊	賀順井春正		
伊藤 秀二	河嶋	薫				宇野	松村 春正		
						舍人	佐々木義純		
						石田	英敏		

東郷松崎	中村 樊	益田	勝政	石賀	文雄	倉吉	米田 信忠	森	壽雄	田中善次郎
山本 重雄	高野 平一	立木豊次郎				石井 邦治	森 壽雄	徳岡榮一郎	伊藤 九か	
長尾 廉一	徳井 榮	竹内 益野				福田 靈藏	徳岡榮一郎	伊藤 九か		
足立 善吉	菅田 滋子	前田 俊治				井中 金造	船越 圓堂	田田 晃司		
岩山 輝之	米原 賢治	安藤 正毅				糸原 禮二	酒井 とら	矢田 貞三		
佐々木甲馬	藤井 賢治	島越政之助				楠 節	加島 初子	岡本 幸一		
岸本源太郎	山本 勇藏	里田 秀治				坂本 壽吉	塚田 市藏	澁谷 正彦		
津村 時雄	津村 美治					山柳 壽治	村出俊太郎	牧野 長徳		
金山 一男	山本 健藏					三谷 孝治	倉都 菊野	内川 清		
岸田 友藏	御船 茂	大丸 義男				吉田 武久	宇治 哲二	谷川 實次		
山本 義信	加藤 嘉壽	山下 雲林				窪田 嘉八郎	會見八千穂	中山 善滿		
新信 善逸	甲栗久米藏	山下 雲林				鹽見 森之助	野田 英一	椿 義廣		
別所 和治	山崎 壽信	松浦 龜章				篠原喜代子	山田 久子	赤嶋 輝雄		
中田 肇	相生 英敏	谷本 順一				黒川 繁藏	山田 久子	赤嶋 輝雄		
宮本 その	山根 英子					川西 信藏	森 權太郎	富盛 輝雄		
谷口 幹三	米田 小豊	小椋 政美				米原 石藏	山本 好治	中村 實藏		
佐崎 勝義	西村 喜平	澤成 清盛				山本 太一	山本 しげ	白水 春光		
						小鴨	川西 信藏	森 權太郎		
						中島 登	米原 石藏	山本 好治		
							山本 太一	山本 しげ		
							中島 登	白水 春光		

上小鴨	前田 道隆	毛利 年子	中井 繁康	深田百合子	樋口 良光	山本 豊信
太田 恒雄	山本 惚市	藏増 敬市	小谷 辰藏	秋藤八千穂	天田 定好	
香川 いわ	藏富 重文	河内 春治	大畑 延治	福田 正章	米原 菊江	山口健太郎
山本 武雄	進木 昌重	松原 直三	福田 秀藏	吉田 げん	明里 達助	
牧田 正名	石田 潔	石田 泰三	堀 潔	御船 明男	日置 りよ	
長谷川延壽	野島 信藏	岸本 國藏	三村 文道	越野 辰雄	坂本 仲藏	岩垣てるゑ
石川 岩藏	小椋 操	繁原 治代	脇坂久米藏	岡 登美	齊尾 昌夫	田中 一
友兼 京藏	小谷 實雄	田中源太郎	岡 登美	池田 律	池田 繁雄	加藤 夫
河島 廣政	山中 管雄	牧 頼壽	池田 律	山崎 營	坂野 米藏	榑田 民子
鈴木 一雄	谷口 幸人	藤本 忠儀	野島 利治	山本 正信	西谷 義春	本川 龍藏
北谷 豊	西山兼次郎	中井 智則	德田 延藏	德田 延藏	牧田 好彦	藤本 滋
松岡 豊	加藤 順子	小谷 義雄	仲倉熊太郎	池田 龍藏	市下 豊	平信 のぶ
野島 正規	中江 貞造	吉田 清一	長谷川琴弘	長谷川琴弘	市下 豊	
永江 貞子	藤本 忠儀		田中まさよ	田中まさよ		
高城 常雄	中江 貞造					
松井 常雄	藤本 忠儀					
牧野 智源	中井 智則					
福井 宗平	小谷 義雄					
藤本よしゑ						
松本 延子						

大誠	飯田 卷藏	澤山長太郎	竹信 直藏	福田 信雄	山下 兼藏	山崎 俊子
中村 喜一	田熊 重野	山田 政男	福本 繁男	上林 由造	岩本 幸治	
井中 政男	前田 昌人	山本 彦治	村主 昌代	小谷 道治	前田 稔	
竹歳 敏夫	田中 ひで	森 千賀代	中本義太郎	井上 輝之		
荒尾 角次	天野 恒松	坂本 融	那順 健一	漆原 義恕	谷口 熊藏	
山本 英代	吉田 克文	村岡 榮	澤田重次郎	澤田 辰造	中本 久三	高橋 静野
入江 東風	石前 利平	岡田 幹子	眞山 富藏	高塚 光子	大石 常藏	西村 頼吉
盛山 幸人	三島千代野	岡田 剛	長田 正藏	福岡 光雄	松本 金壽	
家森 隆治	西野 哲雄	田中 剛	梅田 藤市	奥田 秋三	秋田 豊成	池信 松子
中本 昇藏	門脇 榮		矢倉 慶貞	遠藤 貞子	高森 勝義	
河本 文鷹	水倉 義雄	平岩 隆利	佐々木 通	福内 譽		
上郷 浪晴	水倉 義雄	平岩 隆利	矢倉 慶貞	福内 譽		
松本 友藏	杉山 重代	中本 基	奥田 秋三	秋田 豊成		
古布庄 八郎	杉山 重代	中本 基	奥田 秋三	秋田 豊成		
千草久太郎	内海 總司	山本 清子	奥田 秋三	秋田 豊成		
石指 惠仙	近藤 晃	杉山 憲夫	奥田 秋三	秋田 豊成		
佐伯龜太郎	近藤 晃	杉山 憲夫	奥田 秋三	秋田 豊成		
伊勢本健次郎	近藤 晃	杉山 憲夫	奥田 秋三	秋田 豊成		
赤碓 伊勢本健次郎	近藤 晃	杉山 憲夫	奥田 秋三	秋田 豊成		

外江	遠藤 義正	原 令治	藪内 進	濱田 重子	中濱	長山 英一	足立 昇榮	松本 竹重
境	池淵 巖	景山 恒治	足立 文造	濱田 雄太郎	大後津	安田 宜	安田 丈平	安田 寛正
	松島 きぬ	加藤 スノ	西村長太郎	松本とくの	和田	山内 朝光	佃 孝	松本 尊敏
上道	甲斐 孝	榊原 菊榮	岩田 幸一	松井 精二	富益	佐々木幸太郎	足立 繁信	佐々木靜雄
	伊藤 ヲノヲ	今津 松代	渡部 元	景山 文藏	夜見	足立 武彦	松川 正身	足立 仲齊
	中嶋 一郎	松井 慶	門永 文吾	寺本 忠久	成實	内藤 亮	佐藤 徳堯	齊木 妙
	足立 忠次	三谷 惠學	門永 文吾	泉 久太郎	天津	景山 明夫	石田 幸三	大塚 利雄
余子	阿部 文市	阿部 正義	山本 富子	和田 善藏	成實	山本 勝美	牧野 キヌ	
	足穂 浩	荒河 忠一	大田 虎市	西村 俊久	成實	内藤 亮	佐藤 徳堯	
	景山彌之助	池淵きく子	足立 忠義	泉 久太郎	天津	植田 全自	野口 宗松	桑名 儀子
	石長 哲雄			渡部 元	成實	渡邊 幸雄		

大國	持本 榮壽	頼田 茂壽	竹本 頼光	大幡	岩田 祐	長谷川博三	美甘 克己
	井東 千丈	杉本 武男	岡田しげこ	大幡	鈴木官次郎	後藤 雅章	神倉 文雄
	庄川ツネ子	杉本 武男	岡田しげこ	大幡	遠藤遊龍枝	後藤 和子	勝中 達子
法勝寺	田中 孝稟	眞壁 哲仙	松浦 一徳	縣	野坂 うぬ	福永 蝶	矢田貝さよ
	松尾 玉八	細田 徳義	大江 正夫	春日	柏崎 梅芽	田子 康治	
上長田	持田長三郎	遠藤 榮藏	大田 義規	春日	木村 兼吉	石田 茂雄	
	細田 格			春日	小林 信一	田後 禮子	深田 元治
東長田	生田 嘉雄	岡本 精胤	前田 颯胤	大高	前田 圓吉	石脇 秀治	
賀野	赤井 申惠	恩田 素男	野口 節夫	大高	般越 卯市	花田繁三郎	野口 操
	岡田 友	赤井 正義	堀田 啓啓	大高	後藤 武志	谷田松太郎	下本助次郎
	門脇貞之助	梅原 恭三		大高	田中 巖	渡邊 岩男	船田 覺
手間	吉持 恒	高橋 亮一	山本 鐵丸	大高	能登路作平	妹尾 光平	安福 肇
	宇田 ぬい	多田 勇	前田 英藏	大高	高村 徳一	松原 ゆみ	
尙徳	松田市三郎	小林 清一	田子 茂市	日吉津	國頭 邦三	田中 實	三島 竹松
	谷本 茂	高田 龍	鷲見由三郎	大和	皆本 廉造	山崎 藤治	上場 清
五千石	池田 俊岳	平木 徳藏	木山 正治	大和	長井惣三郎	長尾 喜世	森山 壽正
	周山 實	石口 豊宗		大和	橋井 庄一		
幡郷	高塚英三郎	山浦 英雄	妹尾 富治	淀江	安江 綱紀	雲木 吉次	錦織 良温

高島	隆一	藤安	美子	村田	鶴太郎
國頭	新	吹野	梅藏	寺西	増次
柄川	益子	吹野	禮子	石原	正幸
戸崎	辰江	田口	源藏	妹澤	準治
宇田川	清水	雅美	森田	雅義	大許
	山根	福子	下垣	立次	渡邊
	泉	緑	中	まさ	森田
	森田	文市	坂口	宏	堀田
	入江	勇	遠藤	壽雄	水野
	富田	啓次郎	谷野	信隆	大下
所子	瀬尾	藤吾	岡田	石藏	野口
	小原	善三郎	金田	貞	池田
	海賀	尊市	中嶋	正子	松原
大山	美甘	竹市	酒嶋	恒	松原
	松尾	泰藏	濱垣	又治	永原
庄内	伊澤	元藏	森田	正	小村
	勝部	宇三郎	小村	文一	押村
					光治

權田	啓藏	杉原	靜代	勝田	登志
竹内	林治	杉原	テルエ		
野坂	美正	山本	とよの	林原	文子
角田	忠一				
御來屋	中上	孝茂	岡本	範雄	山本
	木谷	富與	加納	正義	銀藏
光徳	吉村	大善	木下	昇	林原
	田中	勝福	岡本	隆義	近藤
逢坂	小谷	徳雄	南條	壽美子	宗統
	長田	盛治	松本	康治	野間
	高見	正	安達	壽堯	松井
二部	野田	仲			翠
	西村	千代	武田	ちゑ	海田
	中田	光壽	高橋	英雄	影山
黒坂	前田	儀市	渡邊	裕	
	生田	貞壽	鳥居	重隆	太田
大宮	上村	富美	長谷川	信儀	生田
	白根	卓	山脇	六雄	井上
					瀧

泰	盛章	木村	宏毅	足立	鶴藏
阿直	縁	重親	利治		
山上	大塚	正年			
	松本	清	高橋	平治	山形
多里	坪倉	英男	池田	美代子	山形
	松尾	楯雄	倉間	克雄	比田
	田邊	義親	新田	頼貞	被一
日野上	順田	了圓	倉光	政廣	
	澤田	千松	三森	茂市	伊田
	狩野	長藏	久城	理一	和太郎
	舟越	寛治	長尾	儀四郎	仲田
福榮	花倉	順三	山中	傳三郎	津江
	西村	實	田中	幸雄	
石見	新田	豊	小谷	茂利	
	中村	憲太郎	安達	健	太田
日野	遠藤	正分	宮田	傳	信一
	藤原	金三郎	佐々木	要三郎	米積
根雨	生田	保藏	緒形	舜一	千代美
			桂藤	徳太郎	

高橋	武	飯田	竺仙	梅林	數雄
神奈川	浦部	忠太郎	舟越	重勝	藤原
	木嶋	義輝	石原	初子	八郎治
江尾	前田	大宗	竹内	春重	藤堂
	西村	金重	手島	健一	常榮
	青立	忠男	上原	千勢	清水
米澤	香田	義敬			清治
	加藤	包暢	青立	萬壽美	長尾
溝口	川上	廣治	筒井	道治	四郎
	遠藤	吉治	井上		
日光	谷口	貞市	原	利重	下垣
	木村	維男	遠藤	覺重	鶴治
八郷	野口	國夫	岩田	義治	井上
					一
	三刀谷	榮	井澤	良三	野本
	森田	一俊	井澤	良三	覺忍
	橋谷	卓人	木島	まきよ	深田
	橋谷	卓人	木島	まきよ	薫
	谷口	貞市	遠藤	覺重	山中
	木村	維男	遠藤	覺重	義光
	野口	國夫	岩田	義治	岡村
					文一
					元宜

下村 光治 井上 豊 小谷 利平
 大塚 傳重 青戸 乙一

◇鳥取縣告示第二百八號

昭和二十二年閣令内務省令第一號第八條第一項の規定により東伯郡西郷村及び日野郡日野上村農地委員會委員の候補者につき覺書に掲げる條項に該當する者でない旨の確認を求むべき期日を次のように指定する。

昭和二十三年五月四日

鳥取縣知事 西 尾 愛 治

一、昭和二十三年五月五日から
 同 年五月七日まで

◇鳥取縣告示第二百九號

氣高地方事務所管内において縣稅檢査章竝縣稅滯納者財産差押證票を次の通り返納竝交代した。

昭和二十三年五月四日

鳥取縣知事 西 尾 愛 治

昭和二十三年五月四日
 昭和二十三年五月四日發行

鳥取縣公報

(昭和二十三年五月十五日)

發行所 鳥取縣鳥取市一町
 印刷所 鳥取縣鳥取市東町

區分	番號	交付返納年月日	所屬廳名	職名	氏名
縣稅檢査章	三七	昭和二十三年四月十五日返納	氣高地方事務所	鳥取縣事務吏員	横山 黨
縣稅滯納者財産差押證票	三九	同 返納	同	同	横山 黨
同	三九	同 交付	同	同	畑中小太郎